



川島町

農業委員会だより



いちじくの雨除け栽培が始まりました（「いちじく」を食べて健康家族に！）。

- 会長就任のあいさつ
- 農業委員が改選されました！
- 農地の利用集積にご協力を！
- 改選されました農業委員を紹介します！
- 耕作放棄地の解消にご協力を！
- 農業委員研修会開催される。
- 農業委員会比企地区協議会総会開催される。
- 農業こぼれ話
- 編集後記

第 3 号

平成21年9月20日発行

発行：川島町農業委員会

編集：川島町農業委員会だより編集委員会
〒350-0192

比企郡川島町大字平沼1175

電話 049(297)1811

会長就任のあいさつ

川島町農業委員

会長 横川二三男

本年五月に農業委員の改選があり、初総会におきまして、委員の皆様の推薦により、会長という職を担うことになり、その責務の重さを痛感しているところであります。また、農業委員会の運営並びに活動につきまして、日頃よりご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、世界的な食糧・エネルギー・環境問題に対する関心が高まる中、近年の農業を取り巻く状況は大変に厳しいものがあり、農業者の高齢化や若者の農業離れなどから生じる耕作放棄地の増大などをはじめ、担い手育成・食糧の安心・安全などが大きな課題となっております。

こうした情勢の下、われわれ農業委員会系統組織が果たす役割と責務は重要となっております。また、「土地」と「人」対策に取り組み組織として、農用地面積の確保と有効利用、担い手の確保・育成に取り組まなければなりません。

今後とも皆様のご支援・ご

協力をお願い申し上げます、会長就任にあたってのあいさつとさせていただきます。

なお、今年度も農地の利用集積事業を行いますので、ご協力をお願い申し上げます。

◆ 農業委員が

改選されました！ ◆

町の農業委員は、平成二十一年五月十日をもって任期満了となりました。

任期満了に伴い、新しい委員には、選挙による委員十二名と、農業協同組合推薦による委員一名、農業共済組合推薦による委員一名、土地改良区推薦による委員一名、議会推薦による委員三名の計十八名の新農業委員が、決まりました。

委員の担当地区などは、次のページのとおりでです。なお、任期は平成二十四年五月十日（三年間）までとなっております。

農業委員は、地域農業者の代表で、農地などに関する問題の良き相談相手です。地元農業委員にご相談ください。

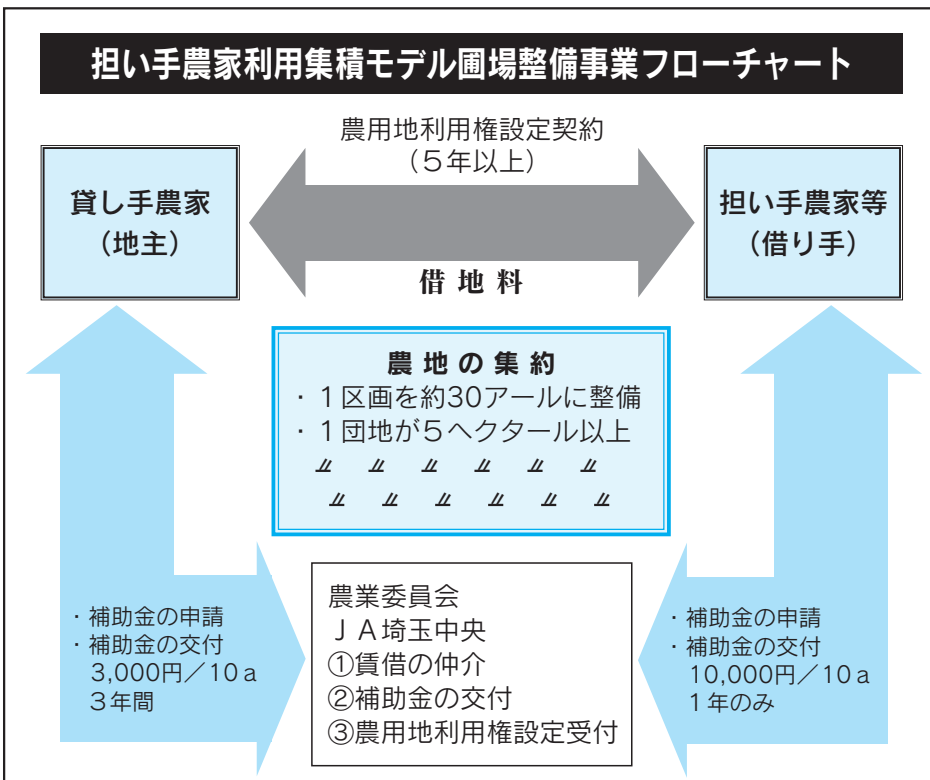
農地の利用集積にご協力を！

近年の米価や麦価の低落は、土地利用型農業経営を行っている農家の経営を非常に圧迫しています。また、兼業農家には、農業意欲の低下や若者の農家離れなどから、耕作放棄地の増大などの影響が出ています。

永年、米作を中心に行われてきた農業を安定的に維持していくためには、経費のかからない農業経営が求められています。

そこで、町と農業委員会では、農業意欲のある担い手農家に農地を集積し、効率のよい農業を行っていただくことと、平成十八年度から「担い手農家利用集積モデル圃場整備事業」を行っています。この事業は、十アール区画の田を、農業経営基盤強化促進法に基づく「農用地利用権設定」による貸し借りや交換などによって集め、圃場の畦畔を取り除き、三十アール程度の区画に整備し、作業効率のよい農業を行えるようにするものです。

担い手農家利用集積モデル圃場整備事業フローチャート



改選されました 農業委員を紹介します！

①住所
②担当地区
(敬称略、氏名の前の数字は議席順)



会長
4 横川二三男
①谷中
②虫塚、一本木、谷中



副会長
8 石黒安太郎
①角泉
②下伊草、角泉、安塚



1 長谷部 實
①牛ヶ谷戸
②牛ヶ谷戸、東大塚



2 清水正行
①一本木
②友一、友二、鳥羽井、鳥羽井新田、芝沼、東部、小見野



3 石川武重
①出丸中郷
②出丸中郷



5 大澤伊吉
①畑中
②上八ツ林、下八ツ林、畑中



6 遠藤光男
①上大屋敷
②出丸本、上大屋敷、下大屋敷



7 飯野徹也
①吉原
②紫竹、吉原、新堀、表



9 前嶋勇男
①出丸下郷
②出丸下郷、西谷、曲師



10 安田昌生
①南園部
②上廓、中廓、南園部、吹塚、北園部



11 小久保典雄
①白井沼
②平沼、白井沼



12 木村一男
①下小見野
②梅ノ木、上南、上北、大辻、中組



13 鹿山柳治
①飯島
②伊草、飯島



14 笛木俊次
①上伊草
②上伊草



15 大森正明
①吹塚
②宮本、伏木、久保、吹塚新田、八幡



16 矢部克治
①山ヶ谷戸
②三保谷宿、山ヶ谷戸、東野田、八幡



17 利根川平八
①戸守
②南戸守、正直、北戸守、長楽

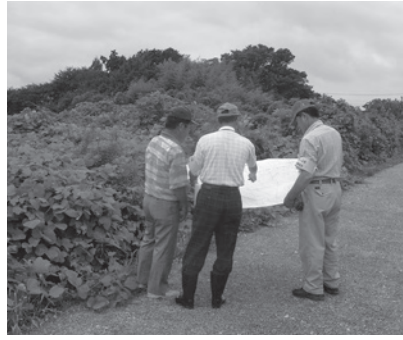


18 猪鼻文明
①下猪
②宮前、上猪、下猪、釘無

耕作放棄地の解消にご協力を！

農業委員会では、耕作放棄地をなくしていくと、毎年耕作放棄地の現地調査を行っています。

今年も八月月上旬に、町内全域の農地を三日間にわたり、農業委員が調査しました。



農業委員による耕作放棄地の調査

耕作放棄地とは過去一年以上作付けされていない荒廃した農地のことをいいます。

農地の手入れが
されなくなると

●農地が遊休化し、長い間放置しておく、農地として復元するには、大変な労力とお金がかかります。

農地を放置すると

●雑木・雑草が茂り、病害虫の発生など周辺の農地へ迷惑

がかかります。

●産業廃棄物や建設残土が積み、農地として利用できなくなりトラブルにつながります。

●枯れ草などが火災の発生源となり、危険です。

耕作放棄地にしないために

「農地は荒らさず耕作する」ことが原則です。自ら耕作できない場合は、担い手へ貸し付けるなど、農地を有効的に活用しましょう。

●農業委員研修会
●開催される。



研修会の風景

農業委員が改選されてから、初めての研修会が、六月十六日町役場会議室で、行われました。

当日は、「農業委員会と農地法について」などの内容を、

県東松山農林振興センター農地担当課長から説明がされました。

今回の研修会は、全員の委員十八名（農業委員に初めてなられたかたがほとんど）が参加し行われました。研修時間は二時間と短い時間でしたが、参加した委員は真剣な面持ちで説明を聞き、農地法の一部改正などの質問を活発にされていました。

農業委員会比企地区
協議会総会開催される。

六月十五日、平成二十一年度農業委員会比企地区協議会総会が、町役場会議室で、行われました。

今年度から、川島町農業委員会長の横川二三男氏がこの協議会の会長となりました。



総会が開催される。

農業こぼれ話 秋の収穫祭

春の祈年祭に対して秋の収穫を感謝する祭りは、御神酒や野菜などを供え、芸能などを奉納する祭りです。

十一月下旬から十二月にかけて行われる新嘗祭は、その年収穫された新米を神前に奉納する祭りです。川島町は昔から水害が多かったせいか、あまり大きな祭りはありませんが、「万作踊り」や「獅子舞」を奉納して豊年を感謝する祭りは現在も残されています。

また、各家庭には、十月（旧曆九月）九日・十九日・二十九日を祭日とする「おくんち」の節句という行事があります。これは古い形の秋祭り、中国の重陽の節句と日本の秋祭りが重複した形で行われてきたものです。新米が、必ずしも九月九日に収穫できるとは限らなかったため、ほかに九のつく十九日や二十九日も祭りを行いました。



編集後記

川島町農業委員会が二年二回発行している「農業委員会だより」も平成二十年九月の創刊号から、今回の発刊で第三号となりました。

その間色々ありましたが、ここで、編集委員会から一つ提案がございます。

それは、こちらから一方的に情報を伝えるのではなく、町民の皆様から町農業委員会に、希望すること・聞きたいことなどを募集し、毎回一、二名の方の意見を紙面で紹介し、回答するようにすることです。

疑問・意見などがありましたら、農業委員会事務局まで、遠慮なくお願いします。

今後、農家の皆様のお役に立つ情報を提供していきたいと思えます。

編集委員長 大森 正明
編集副委員長 前嶋 勇男
編集委員 鹿山 柳治

猪鼻 文明
大澤 伊吉
木村 一男
横川二三男
石黒安太郎

相談役